周界警備 ・ ネットフェンス

D-Field Fence

L3 防護層 ・ 周界ライン

標準的なネットフェンスにD-FENCEセンサー支柱を組み合わせ、長く開けた周界に素早く展開できます。既存設備への後付けにも単独設置にも対応します。



主なメリット

01　長距離でも迅速に
標準的なネットフェンスをベースにしており、特別な技能や工具は不要です。

02　後付けまたは単独設置
既存のフェンスや壁に追加することも、フェンスのない場所に新しいラインを構築することもできます。

03　高電圧なし
電気柵に代わる電子的な検知：10,000 Vの高電圧も、電磁放射もありません。

仕組み

01　ライン上のセンサー支柱
D-FENCEセンサー支柱が、必要な高さでネットフェンスのワイヤーを支えます。

02　ワイヤーにかかる力
よじ登りや切断で荷重が加わります。通常、静荷重を15 kg上回ると警報が作動します。

03　処理ユニット
ユニットあたり最大24個のセンサーを処理し、ゾーンは最大90 mです。

仕様

フェンス長	実用上の制約のみ
ゾーン長	最大90 m
フェンスの高さ	お客様の仕様による
センサーユニット	250 × 55 × 25 mm, 200 g
処理ユニット	最大24センサー
最小作動荷重	通常、静荷重を15 kg上回る荷重
無電圧接点(ドライ接点)	N.O. & N.C.
電源	48 VDC / 12 VDC
通信	RS232 / RS485
動作温度	−25 °C〜+72 °C(−13 °F〜162 °F)
保管温度	−55 °C〜+80 °C(−67 °F〜176 °F)
湿度	95%
耐食性	MIL T 152準拠の防錆処理、全部品ステンレス鋼
誤報率(カタログ値)	1 kmあたり3か月で1回未満(最大値)
センサーMTBF	4.7×10^8 h
MTTR	30分

04 **警報出力**
無電圧接点またはRS232 / RS485で、警報システム、カメラ、D-Command Controlに出力します。

保証	センサー10年保証
設置	既存のフェンスや壁への後付け、または単独設置
特許	特許取得済み(CN実用新案、2019年登録)

入札仕様書の記述例

1. 一般事項

本システムは、D-FENCE Electronic Fencing and Security Systems Ltd.(ISO 9001:2015認証取得の品質マネジメントシステム)のD-Field Fence、または本項のすべての要件を満たす承認済みの同等品とすること。

2. 機能

標準的なネットフェンスにD-FENCEセンサー支柱を組み合わせ、長く開けた周界に素早く展開できます。既存設備への後付けにも単独設置にも対応します。

3. システムは以下を備えること

- **ネットフェンスがベース:** 標準的で低コストのネットフェンスを使用します。
- **任意の高さ:** 特別な技能や工具を必要とせず、現場に必要な高さで設置できます。
- **後付けまたは単独設置:** 既存のフェンスや壁に追加することも、フェンスのない場所に新しいラインを構築することもできます。
- **Green Security Revolution:** 高電圧も電磁放射もなく、電気柵に代わる電子式の選択肢です。
- **ユニットあたり最大24センサー:** 最大90 mのゾーンで、侵入試行の位置を示します。
- **オープンな出力:** 無電圧接点(N.O. & N.C.)とRS232 / RS485に対応します。

4. 技術要件

- **フェンス長:** 実用上の制約のみ
- **ゾーン長:** 最大90 m
- **フェンスの高さ:** お客様の仕様による
- **センサーユニット:** 250 × 55 × 25 mm, 200 g
- **処理ユニット:** 最大24センサー
- **最小作動荷重:** 通常、静荷重を15 kg上回る荷重
- **無電圧接点(ドライ接点):** N.O. & N.C.
- **電源:** 48 VDC / 12 VDC
- **通信:** RS232 / RS485
- **動作温度:** −25 °C〜+72 °C(−13 °F〜162 °F)
- **保管温度:** −55 °C〜+80 °C(−67 °F〜176 °F)
- **湿度:** 95%
- **耐食性:** MIL T 152準拠の防錆処理、全部品ステンレス鋼
- **誤報率(カタログ値):** 1 kmあたり3か月で1回未満(最大値)
- **センサーMTBF:** 4.7×10^8 h
- **MTTR:** 30分
- **保証:** センサー10年保証
- **設置:** 既存のフェンスや壁への後付け、または単独設置
- **特許:** 特許取得済み(CN実用新案、2019年登録)

5. 検知シーケンス

1. **ライン上のセンサー支柱:** D-FENCEセンサー支柱が、必要な高さでネットフェンスのワイヤーを支えます。
2. **ワイヤーにかかる力:** よじ登りや切断で荷重が加わります。通常、静荷重を15 kg上回ると警報が作動します。
3. **処理ユニット:** ユニットあたり最大24個のセンサーを処理し、ゾーンは最大90 mです。
4. **警報出力:** 無電圧接点またはRS232 / RS485で、警報システム、カメラ、D-Command Controlに出力します。

6. 提出書類

施工者は設置前に、製造者のデータシート、設置説明書およびゾーン配置図を提出し、承認を得ること。